

## 平成27年度社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会事業報告

### 1. 法人の運営

#### (1) 理事会・評議員会・監事会の開催

##### 【理事会】

- 平成27年 5月27日 ○平成26年度事業報告の承認について  
○平成26年度社会福祉事業会計収支決算の承認について  
○評議員（補欠）の選任について  
※出席者 理事10名、監事2名
- 平成27年12月22日 ○平成27年度上期事業並びに収支状況について  
○平成27年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）  
（案）について  
○個人情報保護規程の一部改正について  
○職員就業規則の一部改正について  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について  
○パート職員雇用管理規程の一部改正について  
※出席者 理事13名、監事1名
- 平成28年 3月25日 ○平成27年度社会福祉事業会計収支補正予算（第2次）  
（案）について  
○給与規程の一部改正について  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について  
○平成28年度事業計画（案）について  
○平成28年度社会福祉事業会計収支予算（案）について  
※出席者 理事13名、監事2名

##### 【評議員会】

- 平成27年 5月27日 ○平成26年度事業報告の承認について  
○平成26年度社会福祉事業会計収支決算の承認について  
○理事（補欠）の選任について  
※出席者 評議員20名、会長、常務理事
- 平成27年12月22日 ○平成27年度上期事業並びに収支状況について  
○平成27年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）  
（案）について  
○個人情報保護規程の一部改正について  
○職員就業規則の一部改正について  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について  
○パート職員雇用管理規程の一部改正について  
※出席者 評議員28名、会長、常務理事

- 平成28年 3月25日 ○平成27年度社会福祉事業会計収支補正予算（第2次）  
（案）について  
○給与規程の一部改正について  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について  
○平成28年度事業計画（案）について  
○平成28年度社会福祉事業会計収支予算（案）について  
※出席者 評議員24名、会長、常務理事

**【監事会】**

- 平成27年 5月19日 ○平成26年度事業報告並びに社会福祉事業会計収支決算  
についての監査  
※出席者 監事2名、会長、常務理事
- 平成27年12月11日 ○平成27年度上半期業務執行状況及び財産の状況につい  
ての中間監査について  
※出席者 監事1名、会長、常務理事

(2) 正副会長会議の開催

理事会、評議員会の提出議案について協議を行った。

平成27年 5月21日

平成27年12月15日

平成28年 3月22日

(3) 運営、管理体制の充実

本・支所連絡調整会議（隔週開催）、管理者会議（月1回開催）

本・支所ごとに職員会議等を定期的に開催し、情報の共有化を図ると共に抱えて  
いる課題の解決策の検討、研修による資質向上に努めた。

(4) 内部監査の実施

社会福祉事業会計並びに本協議会が事務局として会計を担っている福祉団体等の  
会計について、内部監査を実施した。

平成27年12月 1日（高郷支所、山都支所、塩川支所）

平成27年12月 2日（熱塩加納支所）

平成27年12月3日・4日（本所）

(5) あおぞら税理士法人「青木会計」による会計指導

平成27年 5月11日 ○平成26年度決算に係る会計指導

平成27年11月25日 ○平成27年度上期決算に係る会計指導

(6) 苦情解決第三者委員打合せ会の開催

苦情解決第三者委員との打合せ会を平成27年11月4日に開催した。

※出席者 第三者委員 3名、常務理事、事務局長、福祉課長、  
地域包括支援センター所長

(7) 福島県社会福祉大会への参加

開催日 平成27年10月15日  
会場 会津若松市「会津風雅堂」  
参加者 会長、副会長、理事、評議員 計11名  
被表彰者 福島県知事感謝 8名（民生児童委員）  
福島県社会福祉大会会長表彰 7名（社協職員）

(8) 財政基盤の確立

自主財源としての福祉活動支援金の充実、賛助会員会費制度の拡充に努めた。

福祉活動支援金 6,503,958円

賛助会員会費 2,660,000円

(9) 社協賛助会員の拡充

7月に会社・個人に加入依頼のため訪問等を行い、新規に158件（609,000円）  
の会社・個人に賛同頂いた。

(10) 職員の資質向上

全職員（正規職員・嘱託職員・パート職員）を対象に、本所・支所ごとに接遇並  
び  
にPDCAについて内部研修を実施した。

(11) 介護職員初任者研修の実施

本市は福祉施設等における介護職員の不足が深刻な問題となっており、人材育成  
を図るため介護職員初任者研修を実施した。

期間 平成27年10月7日から平成27年12月10日（25日間）

受講者 19名

修了者 19名

(12) 実習生の受入れ

・東北福祉大学 1名（24日間）

・会津大学短期大学部 2名（23日間）

・国際医療福祉大学 1名（24日間）

## 2. 福祉のまちづくり事業

(1) 第11回社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが社会福祉に対する理解を深め、地域福祉活動がより一層充実さ

れることを目的として、第11回喜多方市社会福祉大会を開催した。

日 時 平成27年11月18日(水) 午前9時30分  
会 場 喜多方市総合福祉センター・多目的ホール  
表 彰 社会福祉大会長表彰 7名、2団体  
社会福祉大会長感謝 7名、1団体  
福島県共同募金会長感謝 22名、10団体、21校  
記念講演 今、やさしさの時代  
講 師 広瀬 久美子 氏 (元NHKエグゼクティブアウンサー、エッセイスト)  
参加者数 321名

#### (2) ふれあい社会福祉講座の開講

社会福祉を正しく見る目と豊かな創造力を養うことにより、社会福祉の進展に資することを目的として、ふれあい社会福祉講座を開催した。

第1講 「認知症の予防について」

講 師 福島県立医科大学会津医療センター  
精神医学講座 助教 西郷 佳世 氏

日 時 平成27年7月8日(水) 午後1時30分

受講者数：132名

第2講 「なりすまし詐欺被害にあわないために」

講 師 福島県消費生活課 主査 佐藤 淳子 氏

日 時 平成27年7月15日(水) 午後1時30分

受講者数：107名

第3講 いきいき終活セミナー「今から考える楽しい老後のススメ」

講 師 ベストファームグループ シルバーライフ情報館  
ファイナンシャルプランナー 岩崎 剛士 氏

日 時 平成27年7月22日(水) 午後1時30分

受講者数：118名

○受講者計 357名

#### (3) 広報紙『きたかた社協だより』の発行

年4回(5月、8月、11月、2月)『きたかた社協だより』を発行し、社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付した。

#### (4) ホームページの活用

本会の事業内容をリアルタイムに広く市民に周知するため、ホームページを活用し情報の発信をした。 <ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>>

### 3. ボランティア事業の推進

(1) ボランティア活動普及事業協力校の指定（24校）

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校を指定し、各学校の特色ある福祉教育の推進を支援した。

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校

(2) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて vol. 11』の発行

市教育委員会及び市内のボランティア協力指定校の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文を募集し、福祉作文集『ちいさなて vol. 11』を発行した。

(3) 傾聴ボランティア養成講座の実施

傾聴ボランティアとしての知識と技術の習得を目的に、講座を開催した。

講師 会津大学短期大学部 講師 木村 淳也 氏

第1講 平成27年 9月 2日（水）午後 1時30分

内容 傾聴からはじめよう

第2講 平成27年 9月 9日（水）午後 1時30分

内容 基礎編

第3講 平成27年 9月16日（水）午後 1時30分

内容 応用編

○受講者数（延べ） 66名

(4) 傾聴ボランティア活動に係るコーディネートの実施

介護サービスを利用している高齢者等に対して、孤独感や不安感の軽減と精神的な健康維持の支援を図るため、傾聴ボランティア活動に係るコーディネートをを行った。

傾聴ボランティア登録者数 19名

ボランティア活動実施施設数 10施設

傾聴活動実績（延べ） 2,738件（357日間）

(5) ボランティア養成等事業の実施

①サマーショートボランティアスクールの実施

喜多方地区 高校生 5名

熱塩加納地区 小学生 7名、中学生 19名

塩川地区 小学生 1名

山都地区 中学生 3名  
高郷地区 小学生 6名

②福祉ボランティア事業

中学生救命講習会（熱塩加納地区） 1回開催（64名参加）  
一人暮らし高齢者宅訪問ボランティア（熱塩加納地区） 1回実施（11名参加）  
炊き出し訓練（高郷地区） 1回実施（18名参加）  
かたくり荘清掃ボランティア（高郷地区） 2回実施（40名参加）

(6) 除雪ボランティア事業の実施

除雪作業を支援することにより、高齢者等の精神的・身体的負担を軽減し、地域における支え合い及び福祉の向上を図るため、除雪ボランティア事業を実施した。

地区名	実施日	対象世帯	参加者数
喜多方	2月13日（土）	2世帯	25名
熱塩加納	2月6日（土）	15世帯	94名
塩川	※積雪量が少なく希望がないため中止		
山都	2月13日（土）	9世帯	102名
高郷	※積雪量が少なく希望がないため中止		
合計		26世帯	221名

(7) 視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、ボランティア会員が総合福祉センター録音室で、広報きたかたを朗読しテープに録音したものを、『声の広報』として希望者に郵送した。

○毎月1回・利用者 8名 朗読ボランティア 12名

(8) 点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

○毎月1回・会員数7名

○講習会 第一小学校点字講習会 1回

塩川小学校点字講習会 1回

4. 地域福祉事業

(1) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において心配ごと相談所を開設した。

<相談内容別内訳>

○生活費に関すること 13件 ○年金に関すること 0件

○家族関係に関すること 5 件 ○就労に関すること 2 件  
 ○医療に関すること 3 件 ○生活全般に関すること 33 件  
 ○その他 27 件 計 83 件

(※生活サポートセンターが関った相談は除く)

(2) ふれあいネットワーク事業 (支部社協事業)

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネットワーク事業」を実施した。

ネットワーク件数	18件	慶徳地区 9件 松山地区 8件 熊倉地区 1件
活動延べ件数	6,473件	慶徳地区 3,926件 松山地区 2,411件 熊倉地区 136件

(3) 「ふれあいいきいきサロン」の開設 (35箇所)

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいきいきサロン」の開設と運営を支援している。

サロ ン 名	地区名	サロ ン 名	地区名
松が丘いきいきサロン	喜多方	吉志田いきいきサロン	喜多方
桜ガ丘いきいきサロン	喜多方	村松三区いきいきサロン	喜多方
清水台いきいきサロン	喜多方	関柴地区いきいきサロン	喜多方
東四ッ谷いきいきサロン	喜多方	ひばりが丘いきいきサロン	喜多方
上三宮二区いきいきサロン	喜多方	渋井いきいきサロン	喜多方
寺町いきいきサロン	喜多方	花園いきいきサロン	喜多方
一ノ堰二区いきいきサロン	喜多方	譲屋いきいきサロン	喜多方
桜町ふれあいサロン	喜多方	菅原町ニューサロン	喜多方
○幸町いきいきサロン	喜多方	針生ひだまりサロン	熱塩加納
野辺沢いきいきサロン	熱塩加納	新崎いきいきサロン	熱塩加納
柴城地区いきいきサロン	塩川	上窪地区いきいきサロン	塩川
別府いきいきサロン	塩川	塩川地区いきいきサロン	塩川
○大木地区いきいきサロン	塩川	河原田いきいきサロン	山都
広野いきいきサロン	山都	藤沢いきいきサロン	山都
ふなひいきいきサロン	山都	小布瀬原いきいきサロン	山都
千咲原いきいきサロン	山都	○木曾いきいきサロン	山都
○館原いきいきサロン	山都	○松ヶ丘いきいきサロン	山都
西黄地区いきいきサロン	高郷		

(○は、平成27年度に新規開設)

○ふれあいいきいきサロン世話人連絡会の開催

日 時 平成28年 3月10日

内 容 サロン活動推進に係る情報提供等

(4) ミニサロン等交付事業

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築く交流事業等に対して交付金を交付し活動の支援を図った。

ミニサロン等事業 1箇所

交流事業 3箇所

(5) 日常生活自立支援事業

福島県社協からの委託により、日常生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が地域において安心して暮らしていくため、支援を行う喜多方市各地区担当の生活支援員8名を選任して金銭管理等の援助を行い、日々の生活における自立に向けた支援活動を展開した。

年度末契約件数 3件

(6) 生活福祉資金（離職者支援資金）の貸付

福島県社協の資金である生活福祉資金貸付けの手続きを行い、必要な援助を行った。

貸付件数 5件（939,000円）

(7) 小口生活援助資金の貸付

本協議会の独自事業として、低所得者の緊急的な経済的問題を解決し安定した生活を送れるよう資金の貸付けを行った。

貸付件数 41件（2,230,000円）

(8) 高額療養費の貸付

高額療養費支払いに困窮する者に対し資金を貸付け、その世帯の経済的自立を助長し、生活の安定を図った。

貸付件数 20件（820,570円）

(9) おもちゃ図書館の運営

全ての子ども達が、「おもちゃ」や「本」を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供した。

本 所 年間利用人員延 4,352名 開館日数 65日

熱塩加納支所 年間利用人員延 280名 開館日数 12日

塩川支所 年間利用人員延 1,241名 開館日数 47日

山都支所	年間利用人員延	102名	開館日数	26日
高郷支所	年間利用人員延	192名	開館日数	12日
	計	延6,167名	計	162日

(10) 子育て支援事業の実施

・交通安全教室	平成27年5月26日	53名参加
・ベビーマッサージ	平成27年9月29日	13名参加
・乳幼児期の食について	平成27年10月27日	60名参加
・ほのぼの運動会	平成27年11月24日	60名参加
・たのしい人形劇	平成28年1月26日	55名参加
・とりかえっこバザー	平成28年2月23日	57名参加
	計	298名参加

(11) 生活サポートセンター事業（生活困窮者自立支援事業）

平成27年4月施行の生活困窮者自立支援制度に基づき、喜多方市の要請を受けて生活サポートセンター事業を受託し、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談に応じた。

1) 生活困窮者に対する包括的相談支援事業

相談実人数	75名
支援プラン策定件数	36件（支援調整会議で決定）
就労決定件数	21件
支援実施延べ回数	1,447回 （面接相談、電話相談、訪問相談、同行支援、支援調整会議、他機関への照会等）

なお、プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応をした。

2) 関係機関とのネットワークの構築と社会資源の開発

民生児童委員連合会総会、各地区児童民生委員協議会、ふれあい福祉協議会、自立支援協議会などへ出席し、制度説明、DVD視聴による支援内容周知を行い顔の見える関係づくりに努めた。

3) 支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、相談者の生活状況改善に向けて支援計画の検討や意見交換を行った。

平成27年度開催 12回

4) フードバンク事業

平成27年10月23日にコープ東北サンネット事業連合とコープフードバンク協定を締結し、生活困窮者に対しフードバンクから提供を受けた食料品の提供を行った。

平成27年度提供実績 11世帯（延べ19回）

5) 広報・周知について

生活サポートセンターの周知に関し、リーフレットを作成し関係機関を通して市民へ配布を行うとともに、市の広報2回、社協広報で4回の掲載を行うほか、PRを図った。

(12) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

また、センターまつりの開催、アートぶらりーへの参加、更には、ふれあい作品展や体験教室指導、各種イベントでの出店を行い生産品の販売と、会員募集、事業活動のPRに努めた。

1) 各グループ活動

登録者数 165名

年間延活動人員及び延活動日数 7,463名 / 608日

<内訳>

項目	グループ等名	登録人数	年間延活動人員	延活動日数
グループ活動	手芸グループ	29名	1,086名	59日
	陶芸グループ	56名	3,498名	201日
	菌茸グループ	16名	436名	60日
	園芸グループ	9名	416名	105日
	織物グループ	31名	1,137名	56日
	押し花絵グループ	11名	196名	28日
	わら工芸グループ	13名	694名	99日
グループ活動計		165名	7,463名	608日
その他の活動	パソコンクラブ		101名	26日
	土根壤耕遊塊		129名	41日
	イベント等全体活動		604名	37日
その他の活動計			834名	104日

(13) 高齢者生きがい対策事業の実施

○陶芸教室の開催

高齢者のいきがづくりの一環として塩川地区と山都地区において陶芸教室を開催した。

塩川地区 会員数34名 延べ 532名／76日

- ・研修事業の実施 日帰り研修24名参加 一泊研修13名
- ・体験講習受入れ 2団体

山都地区 会員数11名 延べ 33名／11日

○一人暮らし高齢者等支援事業

日帰りお楽しみ会（塩川地区）	1回開催（12名参加）
外出支援事業＜集合昼食会＞（山都地区）	1回開催（20名参加）
外出支援事業＜ぶどう狩り＞（山都地区）	1回開催（18名参加）
外出支援事業＜芝居観劇＞（山都地区）	1回開催（17名参加）
友愛訪問＜クッキー・カード配布＞（山都地区）	1回開催（107名）
一人暮らし昼食会（高郷地区・赤十字奉仕団共催）	1回開催（14名）
買物支援事業（高郷地区・民生児童委員共催）	2回開催（16名参加）
友愛訪問お弁当サービス（高郷地区・赤十字奉仕団共催）	年1回（44食）
計	9回開催

(14) 児童館運営事業への協力

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館運営事業に、児童厚生員を配置しその運営に協力した。

(平成28年3月末現在)

児童館名	登録児童（幼児・学童）数	年間受入人数 (延べ)
中央児童館	73名	13,644名
上三宮児童館	28名	3,761名
岩月児童館	31名	6,429名
関柴児童館	33名	7,522名
熊倉児童館	42名	8,884名
慶徳児童館	44名	8,972名
豊川児童館	57名	11,298名
喜多方児童クラブ館	116名	23,455名
松山児童クラブ館	53名	12,815名
しきみ児童クラブ館	36名	8,506名
<b>計</b>	<b>513名</b>	<b>105,286名</b>

(15) 小地域福祉活動の推進

1) 支部社協活動への支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成 9年 8月 24日	関柴支部	平成12年 3月 12日
松山支部	平成10年 3月 14日	熊倉支部	平成13年10月 10日
岩月支部	平成11年 2月 11日	上三宮支部	平成17年 9月 7日
豊川支部	平成11年 7月 21日		

2) 支部社協代表者会議の開催

7支部社協の代表者による情報交換を行い、活動の充実を図る目的により代表者会議を2回開催した。

3) ふれあい福祉協議会活動への支援

福祉団体等の連携による情報の共有化と地域における福祉の現状と課題を把握し、市民が主体となって小地域福祉活動に取り組むため地域に設立された「ふれあい福祉協議会」の活動に対し、支援を行った。

- ・喜多方地区ふれあい福祉協議会
- ・熱塩加納地区ふれあい福祉協議会
- ・塩川地区ふれあい福祉協議会
- ・山都地区ふれあい福祉協議会
- ・高郷地区ふれあい福祉協議会

(16) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- 1) 民生児童委員連合会
- 2) 老人クラブ連合会
- 3) 赤十字奉仕団
- 4) 日本赤十字社有功会
- 5) 手をつなぐ親の会
- 6) 身体障がい者福祉会
- 7) 福島いのちの電話
- 8) 瓜生岩子刀自顕彰会
- 9) 更生保護協議会
- 10) 遺族会連絡協議会
- 11) その他の福祉関係団体

(17) 在宅介護者教室の開催

市民の方々に対し在宅介護の知識と技術を習得していただくため、在宅介護者教室を開催した。

- 山都会場 平成27年11月28日 20名受講
- 喜多方会場（男のための介護教室）平成28年 3月 5日 10名受講

(18) 家族介護者交流事業の実施

介護をされている方々を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を図る

ことを目的に家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

- ・一泊リフレッシュ事業（平成27年10月13日～14日）

参加者：30名　行き先：山形・宮城県方面

- ・日帰りリフレッシュ事業（平成27年10月21日）

参加者：12名　行き先：裏磐梯方面

- ・交流会事業（平成27年11月13日）

参加者：11名　会　場：日中温泉「ゆもとや」

#### (19) 福祉教育等への協力

市内小中高校で行われた福祉教育に関する授業及び、各種集会においての福祉に関する知識を深めていただくため、職員を講師として派遣した。

項　　目	派遣職員数	開催回数
高校生を対象とした高齢者疑似体験等	3名	2回
中学生を対象とした高齢者疑似体験	3名	1回
介護職員初任者養成研修（耶麻農業高校）	7名	16回
家庭看護・福祉実習	1名	14回
高齢者サロンでの福祉講座	6名	6回
老人クラブでの福祉講座	3名	3回
その他の団体での福祉講座	1名	1回

#### (20) 福祉バスの運行

市民の福祉向上に寄与するため、福祉バスを運行した。

運行日数　延　188　日（運行台数3台）

#### (21) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、貸出し（無料）を行った。

貸出件数　　72件

#### (22) NPO法人日本入れ歯リサイクル協会への協力

不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通して世界の子どもたちのために役立てる活動に協力した。

精製貴金属量　122.0g（52,012円）

#### (23) 資源回収の取組み（エコキャップ）

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための支援を行った。

業者へ納入したエコキャップ　450キロ（ポリオワクチン換算　225人分）

## 5. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

### (1) 大熊町からの避難者のつどい「喜多方のつどい」への協力

大熊町から喜多方市に避難されている方を対象に、情報交換や閉じこもり防止、心配ごと相談、軽体操やレクリエーションの実施などを目的に月1回、総合福祉センターで開催されている「喜多方のつどい」の運営に職員が協力している。

### (2) 避難者健康相談会への協力

会津保健福祉事務所並びに富岡町が主催する健康相談会（各月1回）の運営に職員が協力した。

## 6. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に精力的に協力した。

共同募金実績 8, 421, 396円

歳末たすけあい募金実績 4, 635, 562円

### ○街頭募金の実施

喜多方地区 3ヶ所 ヨークベニマル喜多方店、コープあいづBESTAひがし店、  
リオンドール喜多方西店

塩川地区 1ヶ所 コープあいづバリューしおかわ店

高郷地区 1ヶ所 高郷公民館（文化祭イベント会場）

※募金ボランティア参加者 小学生 6名、中学生 3名、高校生 9名、  
一般 7名 計 25名

## 7. 日本赤十字社への協力

人道・博愛を目的とした日本赤十字社への協力を図った。

社資実績額 7, 210, 655円

・なお、日赤福島県支部より赤十字救援車補助金（120万円）とAED2台（自動体外式除細動器）の支援を受けた。

## 8. 福祉施設の管理運営

### (1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター年間利用人員 33, 109名（開館日数 309日）

多目的ホール貸出回数 331回（利用者数 14, 380名）

会議室貸出回数 142回（利用者数 3, 494名）

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設	営業日数	314日	延利用者数	79,915名
運動施設（ゲートボール場）	利用日数	147日	延利用者数	1,759名
送迎車の運行	延日数	36日	延べ利用者数	637人

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

パンフレットを作成し各種イベントで配布するなど誘客に努めた。

また、キッズスペースを設置し子ども連れでゆっくりと利用していただけるよう環境整備を図った。

保養施設	営業日数	308日	延利用者数	21,440名
巡回福祉バス運行	100日（毎週水・木曜日）		延利用者数	1,661名

(4) 生活支援ハウス事業

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

○山都生活支援ハウス 10部屋 2名入居（3月末現在）

○高郷生活支援ハウス 7部屋 3名入居（3月末現在）

## 9. 在宅福祉サービス事業の健全経営

(1) 介護事業の運営強化

・ケアプランセンター3事業所において、主任介護支援専門員を配置し、9月1日より介護報酬特定事業所としての届出を行った。

特定事業所とは・・・ 主任介護支援員を配置し、研修計画に基づく個別の研修実施と週1回の会議を行うこと、困難ケースの支援計画を担当するなど、資質の高いサービスを提供する事業所

(2) 居宅介護支援事業所3事業所、訪問介護事業所2事業所、通所介護事業所5事業所、訪問入浴介護事業所1事業所を運営し、利用者のニーズに応えるため、部門間の連携、財務体質の改善等を図りながら事業所の健全な経営に努力した。（別紙1）

## 10. 包括的支援事業の推進

地域包括支援センターを拠点とし、高齢者が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取り組み、包括的支援事業を積極的に推進した。

また、認知症高齢者の増加に伴い喜多方市高齢福祉課と連携を図り、認知症サポーター養成講座（オレンジ・スマイル）開催への協力や、総合相談の対応についても利用者・

家族の要望に応じ相談できる体制作りを図った。(別紙2)